

<第6回 北部PDセミナー>

多摩病院腎センターです。今年も恒例のPDセミナーが開催されました。これまでは、近隣病院スタッフの方々や当院の職員を対象に腹膜透析（PD）療法の実際やPD看護、自己管理指導に必要な機械操作、手技などをお伝えしてまいりました。今年は、近年大きな課題にもなっている高齢透析患者への対策についてテーマを挙げ、近隣の訪問看護ステーションの方や医師、看護師、地域連携室、薬剤師と多職種の方を対象に講演を行いました。



医師からはPD療法の基礎や、高齢化社会でのPD療法の意義などが伝えられ、初めての方にも分かりやすい説明で基礎を再確認できました。看護師からは、在宅治療であるPD療法は高齢透析患者にも適しており、社会資源を活用したPD療法の導入の必要性や、今後の取り組みなどが述べられ、共感する声も多くありました。

また、診療報酬の改定に関する講義を行っていたき、それぞれの職種の立場から高齢化社会を支援するための具体的な対策をイメージすることができ、多くの学びを得ることができました。今後当院でも高齢患者のPD導入を、誰もが安心して行える在宅治療として提供できるよう、地域と連携できるシステム構築に向け、取り組んでいこうと思います。

